

NEC シーリングファン保証書

持込修理

| | |
|-------|-----------------|
| 形名 | |
| 保証期間 | 本体 1年 ☆お買いあげ年月日 |
| ☆お客様 | ご住所 |
| | ご芳名 |
| ☆ご販売店 | |

見本

☆印欄に記入のない場合は有効となりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。
本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
(保証について)

保証期間は、商品お買いあげ日より1年間です。但し、安定器(インバータバラスト含む)は3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お客様の取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、商品一式と本書をご持参ご提示のうえお買いあげの販売店にご依頼ください。
保証期間を過ぎている時はお買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- つぎのような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(1)使用上の誤り、あるいは改造や分解、不当な修理による故障および損傷
(2)お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数など)による故障および損傷
(4)一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障および損傷
(5)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷
(6)本書のご提示がない場合
(7)施工上の不備に起因する故障および損傷
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
(10)日本国内以外での使用による故障および損傷

This warranty is valid only in Japan

- ご転居の場合は事前に販売店にご相談ください。
- ご購入品等で本保証書に記入の販売店で修理ができない場合は、下記のNECサービス窓口、フリーコール 0120-95-0009 受付時間 平日9:00~18:00 045-949-5940

NECサービス窓口

フリーコール 0120-95-0009

受付時間 平日9:00~18:00

フリーコールが利用できない携帯電話・PHS等からは下記の電話番号にてお願い致します。

- 補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間、扇風機の補修用性能部品を製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品で、同等機能を有する代替部品も含まれます。
- 照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の寿命は8年から10年です。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店またはNECサービス窓口にお問い合わせください。
その際は器具の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

(個人情報取扱いについて)

- 保証書にご記入頂いた住所などの情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ご承知ください。
- 上記利用目的のために、当社が業務を委託する事業者に対し、必要なおお客様の個人情報を開示する場合がございますが、この場合、当該事業者に対して当該個人情報の厳重な管理を求め、上記利用目的以外での使用を行わせないよういたしますので、ご了承ください。

NECライティング株式会社

東京都品川区大崎1-2-2
〒141-0032 <http://www.nelt.co.jp/>

<お客様相談室>

フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

NEC 照明器具

保存用 保証書添付 取扱説明書 【取付方法】

- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださりましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

[注意図記号とシグナル用語の意味について]

- ⚠ **警告:** 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。警告のあるものです。
- ⚠ **注意:** 誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

- ⚠ : この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
- 🚫 : この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
- 📌 : この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

施工者への安全上の注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」と「取付方法」を、よくお読みの上、正しく施工してください。
- お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず使用者にお渡しください。

警告

器具の取付け、取扱説明書により確実に取付けてください。取付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因になります。

電源線接続の際は、取扱説明書により確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接触不良による発熱・火災の原因となります。

注意

この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因になることがあります。

この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

器具の高所への取付けは十分注意して取付けてください。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

使用者への安全上の注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、(いつでも見られる所に)必ず保管してください。

警告

器具の取付け工事(電源工事)は、必ず工事店、電気店(有資格)に依頼してください。一般の方の取付け(電源工事)は、法律で禁止されています。

万一、煙が出たり、変な臭いをするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された(適合する)ランプを使用してください。指定以外(適合しない)ランプを使用すると火災の原因となります。

器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

| | | | |
|----------------|--------------|-------------------------------------|---|
| ⚠ 警告 | 火災の恐れあり | E26 100/110V 照明用一般電球 60Wまで | ○ |
| | 指定以外のランプ使用禁止 | 電球形蛍光ランプ EFA15形まで | ✕ |

お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。

ランプ交換等によりカバーをはずし、再度取付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取付けてください。不完全に取付けると、落下してけが・物損の原因となることがあります。

布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

ヒキヒモにぶらさがったり、強く引っ張らないでください。落下・けがの原因となります。

ヒキヒモで遊んだり体に巻きつけたりしないでください。けがの原因となることがあります。

注意

ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。消灯直後にランプ及びランプ周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

落下したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。(特に器具の清掃のときは、ご注意ください。)

ファンが回転している間は、羽根に絶対に触れないでください。ケガの恐れがあります。

破損した場合、ケガの原因となることがあります。塗料などを塗らないでください。電球が過熱し破損の原因となることがあります。

使用済みの電球は割らずに破壊してください。電球を割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

引火する危険性の雰囲気(ガスリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。

壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。

明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

雨や水滴のかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。破損の原因となることがあります。

ヒキヒモに物を吊るさないでください。

天井のご確認

取り付けできる配線器具



角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング



引掛ローゼット



丸型引掛シーリング



埋込ローゼット

取り付けできない天井



突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井

(20度を超える)ななめ天井

電気工事は電気工事士の資格が必要です。

工事は必ず電気工事店に依頼してください。

取り付けできない配線器具



配線だけのもの



欠け ヒビ割れ 破損しているもの



電源端子 電源端子露出タイプ



ガタつくもの



ケースウエイに取り付いている

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けしないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

- ファンの羽根は必ず全て取り付けで運転してください。回転が不安定となり、落下やケガの原因となります。
- 万一羽根が破損した場合は必ず全ての羽根を交換してください。破損した羽根だけを交換しますと、振動の原因となります。
- 羽根を回転させるためモーターを使用しておりますので、若干の音は発生しますが異常ではありません。ご使用中に異常振動や異常音が発生したらただちに使用を中止し、お近くのNEC製取扱店へご相談ください。
- 壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意

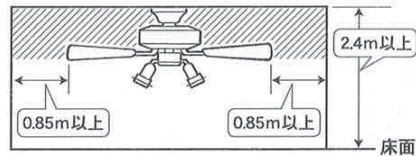
本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。下図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。

(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

《調光器付壁スイッチ代表例》

- ランプ交換の際は電源を切り、ランプが冷えてから適合ランプに交換してください。ヤケド・火災の恐れがあります。(適合ランプ：一般形白熱電球60Wまで又は電球形蛍光ランプEFA15形)

- 点灯中にランプ及びガラスグローブに触れないでください。ヤケドの恐れがあります。
- モーターの構造上、50Hz地域と60Hz地域では回転数が変わります。50Hz地域では若干回転数が遅くなりますが故障ではありません。
- 器具の取付位置は下図の寸法を参考に、取り付けてください。下図の寸法以下で取り付けると器具の振動の原因になる場合があります。



取付後は定期的に点検を行ってください。各部の取り付けにゆるみやガタなどがあると振動や落下の危険があります。ゆるみがあればしめ直してください。

- 斜線部の範囲に突起物等ないようにしてください。

定格

| 形 式 | 使用電圧 | 周 波 数 | ランプの最大消費電力 | モーターの最大消費電力 | 口 金 | 使 用 電 球 |
|---------------------------------------|----------------|-------------|------------|-------------|------|---------------------------|
| EFA15形電球形蛍光ランプ5灯用 (弊社形式：XF-155***) | AC100V (交流) | 50Hz / 60Hz | 60W | 29/31W | E-26 | 電球形蛍光ランプ EFA15形 (E-26) |

安全に関するご注意

明るく安全に使用していただくため、以下の項目にご注意願います。

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。※照明部分の使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。

安全チェックシート

- 安全のために1年に1回は点検をおすすめいたします。
- 下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に○印を記入し、処置手順に従ってください。


| 安全点検項目 | 点検年月 | 点 検 結 果 | | | | | 処 置 手 順 |
|---------------------------------|------|---------|---|---|---|---|--|
| | | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | |
| 1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 | | | | | | | ○印がある場合は、危険な状態になっています。事故防止のため、使用を中止し、新しい器具にお取り替えください。 |
| 2. プラグ・コードや本体を動かすと点滅する。 | | | | | | | |
| 3. プラグ・コードなどが異常に熱い。 | | | | | | | |
| 4. こげくさい臭いがする。 | | | | | | | |
| 5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。 | | | | | | | |
| 6. コード・ソケット・配線部品に傷みやひび割れ、変形がある。 | | | | | | | ○印がある場合は、危険な状態になっています。事故防止のため、使用を中止し、新しい器具にお取り替え、もしくは継続的に点検してください。 |
| 7. 購入後、10年以上経過している。 | | | | | | | |
| 8. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。 | | | | | | | |
| 9. カバー・パネルなどに変色・変形・ひび割れなどがある。 | | | | | | | |
| 10. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。 | | | | | | | |
| 11. 器具取付け部に変形・ガタツキ・ゆるみ等がある。 | | | | | | | |

上記点検項目以外でも不具合があれば、ご購入した販売店・工事店・メーカー等の専門家にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた下記の内容の表示を本体に行っています。

| | |
|---|---|
|  | <p>【製造年】 (本体に西暦4桁で表示してあります)</p> <p>【設計上の標準使用期間】 10年</p> <p>設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。</p> |
|---|---|

【設計上の標準使用期間とは】

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全に支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものではありません。
- 標準的使用条件を超えた条件で使用した場合、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至る場合があります。

■ 標準使用条件 日本工業規格 JIS C 9921-1 による

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 | 備考 |
|-------|---------|------------|-----------|-------------------|
| 環境条件 | 電 圧 | | 単相100V | 機器の定格電圧による |
| | 周 波 数 | | 50Hz/60Hz | |
| | 温 度 | | 30℃ | |
| | 湿 度 | | 65% | |
| | 設 置 条 件 | | 標 準 設 置 | 製品の取扱説明書・据付説明書による |
| 負荷条件 | | | 定格負荷(風速) | 製品の取扱説明書による |
| 想定時間等 | 天 井 扇 | 1日あたりの使用時間 | 10h/日 | |
| | | 1日使用回数 | 5回/日 | |
| | | 1年間の使用日数 | 180日/年 | |
| | | スイッチ操作回数 | 900回/年 | |
| | | 首振運転の割合 | 対 象 外 | |

注記：環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としている。

「経年劣化」とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

使用上のご注意

■しろうと工事は危険です。

電源の工事は電気工事に依頼してください。
また、部品の追加、変更などの器具の改造は絶対にしないでください。器具のすきまに金属類(針金など)を絶対に差し込まないでください。
火災・感電の原因となります。



■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

■ストーブなど温度の高くなる物の真上やその付近および水や湿気のかかる場所では使用しないで下さい。

■ヒキヒモに物を吊るさないでください。

■ヒキヒモにぶらさがったり、強くひっぱらないでください。落下・けがの原因となります。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ベンジン、シンナーなど発揮性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- ・カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、水拭きして石けん分を取り除いてください。
- ・照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は8年から10年です。
- ・安全に使用していただくため、定期点検時に羽根のガタツキや本体のガタツキ等、取付ネジにゆるみがないことを確認してください。ゆるみがあれば、締め直してください。

故障のときの処置

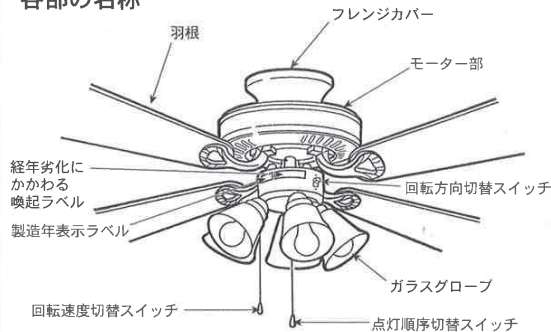
ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。

下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC商品取扱店へご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

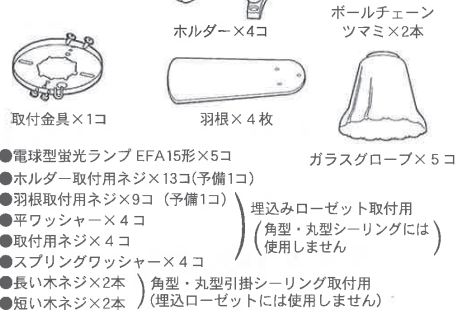
| 故障の状態 | 主な原因 |
|----------------|--|
| ランプが点灯しない | ○ランプがランプソケットに正常に取り付いていない ○ランプの寿命 |
| ファンが回転しない | ○回転速度の切替スイッチが切になっている ○回転方向の切替スイッチが中間に位置している |
| 点灯しない 回転しない | ○電源が切れている。 |

器具の取付方法

各部の名称



添付部品



- 電球型蛍光灯 EFA15形×5コ
 - ホルダー取付用ネジ×13コ(予備1コ)
 - 羽根取付用ネジ×9コ(予備1コ)
 - 平ワッシャー×4コ
 - 取付用ネジ×4コ
 - スプリングワッシャー×4コ
 - 長い木ネジ×2本
 - 短い木ネジ×2本
- 埋込みローゼット取付用
(角型・丸型シーリングには) 使用しません

1. 天井の配線器具を確認する

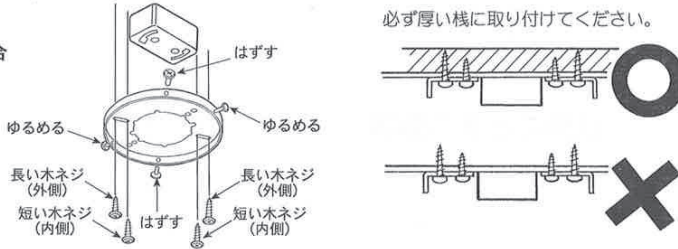
天井に取り付けられている引掛シーリングが右図の場合は、引掛シーリングにガタつきや破損がないか、確認してください。



2. 取付金具の取付

■角型・丸型引掛シーリングの場合

図のように取付金具の側面左側のネジをはずしてください。右側のネジは半分までゆるめてください。天井に必ず木ネジ4本で取り付けてください。

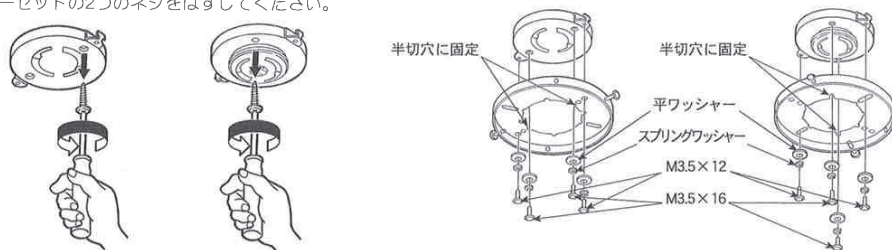


警告 シーリングファンの重さは約6~7kgです。天井の強度(回転荷重も加わりますので10kgに耐える)や補強方法に十分気をつけて天井の梁に取付けてください。

■埋込ローゼットの場合

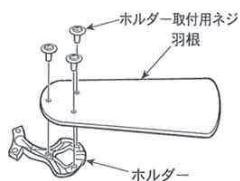
ローゼットの2つのネジをはずしてください。

埋込ローゼット取付用ネジでローゼットに取り付けてください。必ず4本で取り付けてください。



3. 羽根の組立

添付のホルダー取付用ネジで羽根をホルダーに取り付けてください。



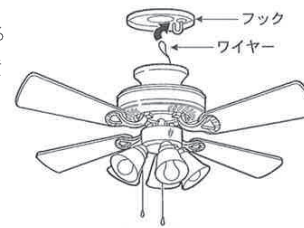
4. 羽根の取付

添付の羽根取付用ネジでモーター部に羽根を取り付けてください。



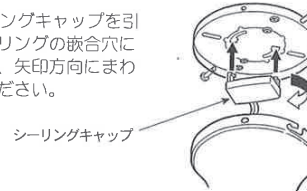
5. 本体部の取付

1. 本体部についているワイヤーを取付金具のフックに引っ掛けてください。

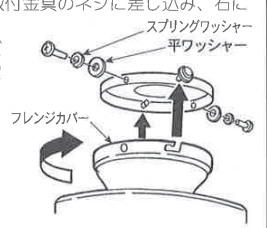


注: 仮固定ができますが吊ったままで手をはなさないでください。落下の危険があります。

2. シーリングキャップを引掛シーリングの嵌合穴に挿入し、矢印方向にまわしてください。



3. フレنجカバーの耳を取付金具のネジに差し込み、右に回してはめてください。左側のネジをしめてください。はずしたネジを穴に合わせてしめ込んでください。必ず4本ともしっかりとしめ込んでください。



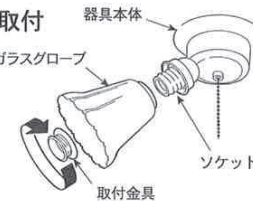
注: 平ワッシャーは、必ず器具フレنجカバーの外側にくること。

4. 添付のボールチェーンを本体部のボールチェーンの止め具にはめ込んでください。



6. ガラスグローブの取付

・ソケットについてあるガラスグローブ取付金具をはずしてから器具本体にガラスグローブをはめ、取付金具にて取り付けてください。



注: 取付金具は、確実に締めてください。ゆるいと落下の原因となります。

6. ランプの取付

・指定のランプを器具ソケットに取付けてください。



注: ランプは確実に締めてください。ゆるいと落下の原因となります。

点灯順序

点灯順序切替スイッチの引きひもを操作することで次の点灯順序となります。



●壁スイッチのみで使用される場合は、時々、引きひも(プルスイッチ)での操作を行なってください。長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障の原因になることがあります。



ファン操作方法

1. ファン

回転速度切替スイッチのひもを引く度に、高速→中速→低速→OFFを繰り返します。

注: ファンの回転をOFFにしても、遠心力が加わっている為すぐには止まりません!

2. 回転方向の切替

回転方向切替スイッチにより、正転と逆転の切り替えができます。



注: 方向の切替は、必ず回転が止まってから行ってください。

上側 ← 回転方法スイッチ → 下側